

# わき出す地域パワー

## 欧米都市に学ぶ

豊富な農畜水産物に恵まれたポートランドは、人口ハンバーガーだが、ホルモンの割合が抗生物質を使わずに育てた地元産の牛肉をほぼ全米で一番多い街。それも、新鮮な野菜や果物、食ナショナルチェーンが並ぶ材にこだわらる。旬の野菜をわけではなく、地ビールを使うため、トッピングされ提供するブリュワリーが市域の野菜は時期で異なり、市内に三十四カ所もあるなど、ルーツシェイクの果物も地域特性を生かした店舗が様だ。「スローな思想」を目立つ。生活者の「地産地消」に対する意識は高く、店は、二〇〇三年にケルメ早くから有機農法の取り組マガジン誌で「全米で最もみも活発で、多くのオーガニック食品を扱うスーパー」に認定された。

ポートランドらしいファーストフード店が、一九六一減の数値目標を掲げたポートランドのチェーンらしく、ポートランド都市圏に三十九店を展開。メーンははエネルギーを一〇〇%風

### 米ポートランド

2



力でもかなうなど環境への配慮も欠かさない。

地域内で生産から消費まで、商品とお金が循環する

## 「地産地消」で循環型経済

ポートランドのスーパーやレストランの多くは地元農家や牧場、ワイナリーなどから安全な地元産の食材を直接仕入れ、廉価で生

ポートランドのスーパーやレストランの多くは地元農家や牧場、ワイナリーなどから安全な地元産の食材を直接仕入れ、廉価で生

「こんなすてきな市(い)に生まれたい」と、米国の「環境共生都市」性ある人を支える。ポートランドは、カリフォルニア州の中心部から少し離れた商店街には、居心地の良いサロンのようなノブヒルという商業ストリートがある。その存在が、バランスの取れた街づくりを促している。

代表取締役 松本大地

地産にこだわらる「ニューシズンズマーケット」(写真上)と「バーガービル」

資本のナショナルチェーンよりも、地元企業を優先するポリシーがあるようだ。それが食のおいしさと安全を確保し、生産と消費の循環型経済活動をつくりだしている。

バッグ、香水・アロマ、タクトウの店など、ワクワクドキドキの連続である。近くのパールディストリクト街区はレンガ造りの倉庫跡を再開発したエリア。ここにはギャラリーの集積があり、毎月第一木曜日は特別に新人アーティスト発表の場となる。ワインが振る舞われるカジュアルな雰囲気の中、芸術文化を身近に楽しむ。

ポートランド市民には大